

# 教育研究業績書

2020年10月27日

所属：食物栄養学科

資格：教授

氏名：雨海 照祥

研究分野	研究内容のキーワード
臨床栄養学	外科代謝栄養、外科学、アウトカム、小児、高齢者
学位	最終学歴
博士（医学）	筑波大学 医学専門学群 卒業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 日本栄養士会、監修、教育プログラム「TNT-D」作成上の編集、構成。DVD 2本の作成：1, 臨床栄養学講座「胃・腸のメカニズム」、2, 「遠くて近い栄養と薬理」	2008年03月	・日本栄養士会、監修、教育プログラム「TNT-D」は世界共通の管理栄養士の教育ツールを医師の立場からアドバイザーとして担当。 ・DVD 1、2は薬物と食物とが、いずれも教育ツールとして開発。
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 日本小児外科学会名誉指導医	2014年1月1日	登録番号 第H14016号
2. 医師免許	1982年05月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定委員	2018年4月1日～2020年3月31日	厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定に従事。
2. 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」策定委員	2013年4月1日～2015年3月31日	厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」策定に従事。
3. アメリカ静脈経腸栄養学会 (A.S.P.E.N.) 学会誌 (Nutr Clin Nutr) 編集委員	2010年1月1日～2019年4月現在	
<b>4 その他</b>		
1. 日本人間健康栄養協会 理事長	2017年6月～2019年4月現在	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 生物と感染症 (1)	単	2020年5月	臨床栄養	雨海照祥
2. 尿酸代謝異常 (2)	単	2020年3月	臨床栄養	雨海照祥
3. 尿酸代謝異常 (1)	単	2020年1月	臨床栄養	雨海照祥
4. 自己免疫疾患と内臓 (1)	単	2019年9月	臨床栄養	雨海照祥
5. 高齢者の栄養管理パーフェクトガイド	共	2019年9月	医歯薬出版	高齢者を下記のように、多方面から論点を展開し、現在の最新の栄養療法の実践方法を広範にわたり創設している。下記の4章に分かれる：第1章-高齢者の特徴、第2章-高齢者医療をめぐる話題、第3章-高齢者の疾患・病態糖の栄養管理、第4章-在宅高齢者の栄養管理。(全585頁) 担当部分：第3章、高齢者の経腸栄養剤。(p561-6) 企画：葛谷雅文
6. 「Dr雨海のスーパー栄養クリニックバーチャルNSTで学ぶスキルアップ栄養ケア	単	2019年9月	医歯薬出版	平成17年8月初版の改訂版。
7. コラーゲンと疾患 (2)	単	2019年7月	臨床栄養	雨海照祥
8. 低栄養対策パーフェクトガイド-病態から問い直す最新の栄養管理	共	2019年6月	医歯薬出版	低栄養の最新知見を総論し、さまざまな医療環境（集中治療室、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟など）、疾患別（脳卒中、ARDS、虚血性心疾患など）、職種別（NST、リハビリテーション、薬剤師、歯科、管理栄養士など）ごとに、詳細で最新の栄養療法の現状を論説している。(全297頁) 第1章

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
9. コラーゲンと疾患 (1)	単	2019年5月	臨床栄養	担当部分：第1章 低栄養の最新知識、低栄養のスクリーニング・アセスメント (p29-38). 編集：吉村芳弘、西岡心大、ほか。 雨海照祥
10. 疲れと食欲不振 (2)	単	2019年3月	臨床栄養	雨海照祥
11. 自己免疫疾患と内臓 (2)	単	2019年11月	臨床栄養	雨海照祥
12. 疲れと食欲不振 (1)	単	2019年1月	臨床栄養	雨海照祥
13. すべての診療科に役立つ栄養学と食事・栄養療法	共	2019年1月	羊土社	栄養素の基本から食品学、各疾患の食事・栄養療法まですべての医師が知っておくべき知識を網羅。各分野のエキスパートによる系統的な解説は現場の疑問に応え、食事・栄養オーダーの悩みを払拭。第1章 栄養素の消化・吸収と代謝。第2章 食事・栄養療法の実践。第3章 栄養指導の実際。第4章 食事・栄養療法に役立つ食品学。第5章 ライフステージと栄養。第6章 各疾患の食事・栄養療法。(全247頁) 担当部分：第2章 1 栄養スクリーニング、栄養アセスメント (p32-9)
14. 内面を映す鏡：皮膚 (1)	単	2018年9月	臨床栄養	雨海照祥
15. かおりのひみつ (2)	単	2018年7月	臨床栄養	雨海照祥
16. 新版 栄養・運動で予防するサルコペニア-サルコペニア診療ガイドライン2017年度版準拠	共	2018年6月	医歯薬出版	サルコペニア診療ガイドライン2017年度版に準拠した、サルコペニアの栄養および運動療法を概説している。(全192頁) 担当部分：サルコペニアの成因 1) 加齢性サルコペニア (p6-14)、サルコペニアの栄養療法。●たんぱく質・アミノ酸 (p112-125)、●脂肪酸、食品パターン、ミネラル (p131-149). 監修：葛谷雅文、雨海照祥
17. かおりのひみつ (1)	単	2018年5月	臨床栄養	雨海照祥
18. しあわせのコノトリ (2)	単	2018年3月	臨床栄養	雨海照祥
19. 21th European Nutrition and Dietetics Conference in Dublin	共	2018年12月	臨床栄養	雨海照祥、武澤明子、松本和美、長谷川万莉
20. 内面を映す鏡：皮膚 (2)	単	2018年11月	臨床栄養	雨海照祥
21. しあわせのコノトリ (1)	単	2018年1月	臨床栄養	雨海照祥
22. メラビ안의ルール(1)	単	2017年9月	臨床栄養	雨海照祥
23. あたまのなかのらせんとコンパス (2)	単	2017年7月	臨床栄養	雨海照祥
24. 低栄養対策パーフェクトガイドー病態から問い直す最新の栄養管理 低栄養のスクリーニング・アセスメント	共	2017年5月	臨床栄養	雨海照祥、幸恵里、黒川典子、甲斐千穂、長谷川万莉
25. あたまのなかのらせんとコンパス (1)	単	2017年5月	臨床栄養	雨海照祥
26. 血清成分の異常：3頭のバタフライの秘密(2)	単	2017年3月	臨床栄養	雨海照祥
27. 臨床現場から教育に求められること：Part-2	共	2017年2月	臨床栄養	雨海照祥、近森正幸、宮澤靖、内山里美、佐藤亮介、蓬田健太郎、林宏一、升井洋至
28. メラビ안의ルール (2)	単	2017年11月	臨床栄養	雨海照祥
29. 血清成分の異常：3頭のバタフライの秘密(1)	単	2017年1月	臨床栄養	雨海照祥
30. 血液凝固系の異常の原因と結果ー2つのWells スコアの謎(1)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
31. 超高齢社会における低栄養の予防と対策	共	2016年	月刊保団連	雨海照祥、長谷川万莉
32. 母子のバトン・リレー—HELLP 症候群(2)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
33. 治療関連合併症 treatment-related morbidity—APACHE II スコアによる未来予測(1)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
34. 血液凝固系の異常の原因と結果ー2つのWells スコアの謎(2)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
35. 母子のバトン・リレー—HELLP 症候群(1)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
36. 治療関連合併症 treatment-related morbidity—APACHE II スコアによる未来予測(2)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
37. 治療関連合併症treatment-related morbidity—低Na血症 (2)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
38. Viscosity thickened enteral formula	共	2015年	"Diet and Nutrition in Critical Care", Ed. by Prof. Preedy V, King's College, London, Springer. ISBN: 978-1-4614-7837-9	Ichimaru S., Amagai T.
39. 困ったときのヒント満載栄養力UP NST症例集(5)	単	2015年	臨床栄養別冊	雨海照祥
40. 治療関連合併症treatment-related morbidity-低Na血症 (1)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
41. 薬剤による口腔内異常 (2)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
42. 薬剤による口腔内異常 (1)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
43. 論文をめぐる対談	共	2015年	臨床栄養	雨海照祥.
44. 女性栄養学の誕生 (3)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
45. 女性栄養学の誕生 (2) 臨床栄養	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥.
46. MUSTとNRS2002は日本人に使えるか - 栄養アセスメントツールの普遍性の検証	共	2015年	臨床栄養別冊	雨海照祥, 久保知子, 黒川典子, 長谷川民子, 甲斐千穂, 北川萌子
47. 高齢者の身体変化、栄養状態から考える 高齢者食・介護食	共	2015年	食品と開発 特集/栄養成分表示と分析法の課題	雨海照祥, 黒川典子, 長谷川民子, 甲斐千穂, 北川萌子
48. 栄養アセスメントと身体機能-癌患者の場合-	共	2014年8月	消化器外科 へるす出版	雨海照祥, 一丸智美, 鉾立容子, 林田美香子
49. 日本褥瘡学会の褥瘡予防・管理ガイドラインの使い方	単	2014年6月	高齢者の糖尿病と栄養 フジメディカル出版	
50. サルコペニア 病態の特徴	単	2014年6月	高齢者の糖尿病と栄養 フジメディカル出版	
51. Intermittent and bolus methods of feeding in critical care	共	2014年1月	in book:Diet and Nutrition in Critical Care, publisher: Springer New York, Editors:Rajukmar Rajendram, Victor R. Preedy, Vinood B. Patel, pp1-17.	Satomi Ichimaru, Teruyoshi Amagai
52. サルコペニアの栄養療法 たんぱく質・アミノ酸	共	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	雨海照祥, 大西泉澄
53. サルコペニアの栄養療法 脂肪酸	共	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	雨海照祥, 林田美香子
54. サルコペニアと抗酸化物質	単	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	
55. サルコペニアの成因	共	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	雨海照祥, 一丸智美
56. 新臨床栄養学 第2版 編集協力	共	2012年	医学書院	
57. 脂肪乳剤	単	2012年	臨床栄養別冊 JCSセレクト7 薬物-飲食物 医歯薬出版株式会社	
58. サルコペニアの診断	単	2012年	サルコペニアの摂食・嚥下障害 リハビリテーション栄養の可能性と実践 医歯薬出版株式会社	
59. 1. 高齢者と栄養: 超高齢社会とは	単	2011年07月	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
60. 栄養スクリーニング手法 (2) 栄養アセスメント・ツール-NRS 2002, MUST, MST, MNA-SF, GNRI-	単	2011年	栄養-評価と治療	
61. 1. 高齢者と栄養: 栄養-負のスパイラルと正のスパイラル	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
62. 3. MNAとアウトカム-在宅高齢者の入院後のアウトカムに影響する因子群	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
63. 5. MNAの開発経緯	単	2011年	高齢者の栄養スクリー	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
64. 6. MNA-SFの特徴	単	2011年	ニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
65. 7. MNA-SF 6項目の内容と意義 : チューブ栄養のときのスコアは?	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
66. EBNとオーダーメイド医療との衝突	単	2011年	臨床栄養別冊 JCNセレクト7 : EBN エビデンスにもとづく栄養ケア 医歯薬出版株式会社	
67. 7. MNA-SF 6項目の内容と意義 : F BMI・CC	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
68. 7. MNA-SF 6項目の内容と意義 : D 精神的ストレス・急性疾患	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
69. 乳幼児の術前の身体指標は術後のアウトカム指標となり得るか-心疾患症例における検討-	共	2010年4月	外科と代謝・栄養	脇田真季, 谷口章子, 川脇 恵, 松岡美緒, 雨海照祥
70. 対談 小腸不全・短腸症候群の治療と栄養ケア	共	2010年11月	臨床栄養	Tom Jaksic, 雨海照祥
71. 高齢者の栄養とMNAの有用性	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, Cornel C. Sieber
72. 看護と臨床栄養-看護栄養学序説	共	2010年	看護技術	
73. 対談 重症病態の栄養療法をめぐる	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 足立香代子
74. シトルリンの生体内における役割	単	2010年	臨床栄養	
75. 入院中の小児の栄養スクリーニングツール-オランダの国内調査	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
76. 小児の急性低栄養に対する治療効果の判定-WHO基準とNCHS基準の比較	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 脇田真季, 宮本恵里
77. 対談 管理栄養士の卒前・卒後教育を考える	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 武田英二
78. ICUで肥満は有利か不利か	単	2010年	臨床栄養	
79. 低栄養症候群	共	2010年	日本臨床	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季 他
80. 膵疾患 のう胞生線維症	共	2010年	日本臨床	雨海照祥, 谷口章子, 高岸和子 他
81. 対談 臨床研究の進め方	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 佐々木敏
82. カンガルーケアで出生児合併症による出生児死亡を予防できる	単	2010年	臨床栄養	
83. 対談 小腸不全・短腸症候群の治療と栄養ケア	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, Tom Jaksic
84. 短腸症候群と小腸不全	単	2010年	臨床栄養	
85. NST誌上症例検討-多臓器不全	単	2010年	臨床栄養	
86. 座談会 近森病院NSTラウンドに学ぶ	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 宮澤靖 他
87. 化学療法・造血幹細胞移植における栄養管理の意義	単	2010年	. Human Nutrition	
88. 肝臓移植・腎臓移植における栄養管理の基本	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5 : 周術期とクリティカルケア 文光堂	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
89. 肝臓移植	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5 : 周術期とクリティカルケア 文光堂	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
90. 腎臓移植	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5 : 周術期とクリティカルケア 文光堂	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
91. 小腸移植	単	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5 : 周術期とクリティカルケア	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
92. NSTのための臨床栄養ブックレット6：癌，化学療法，褥瘡，AIDS 編集	共	2010年	文光堂 文光堂	山東勤弥，保木昌徳，雨海照祥
93. 胎児プログラミング	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット7：ライフステージ①（新生児，乳児，学童，思春期，妊産婦） 文光堂	脇田真季，雨海照祥
94. NSTのための臨床栄養ブックレット7：ライフステージ②（壮年期，更年期，老年期）編集	共	2010年	文光堂	山東勤弥，保木昌徳，雨海照祥
95. 乳児における予後推定栄養指数（PNI）の意義に関する検討-心臓手術患児の場合-	共	2009年4月	外科と代謝・栄養	脇田真季，谷口章子，川脇恵，三橋祥子，滝川沙也加，桑原彰子，雨海照祥
96. GOLD-COPDガイドラインの世界基準のひとつ	共	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット4：呼吸・循環系の疾患 文光堂	雨海照祥，谷口章子，脇田真季，松岡美緒
97. NSTのための臨床栄養ブックレット3：生活習慣病 編集	共	2009年	文光堂	山東勤弥，保木昌徳，雨海照祥
98. のう胞生線維症	共	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット2：消化管の疾患 文光堂	雨海照祥，谷口章子
99. CASE 3 重症膵炎	単	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット1：肝・胆・膵・腎の疾患 文光堂	
100. 急性膵炎・慢性膵炎	単	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット1：肝・胆・膵・腎の疾患 文光堂	
101. 脂肪乳剤の効果—臨床アウトカムにおける意義と課題	共	2009年	臨床栄養	雨海照祥，高岸和子，脇田真季 他
102. Mini Nutritional Assessment (MNA) —高齢者のアウトカム指標としての栄養判定基準	単	2009年	臨床栄養	
103. 脂肪酸と炎症—細胞膜から核へ，検査室から臨床現場へ	単	2009年	臨床栄養	
104. 全身疾患としての褥瘡の栄養管理	共	2009年	褥瘡会誌	雨海照祥，古田島聡，酒井政幸 他
105. 各種増粘剤使用による経腸栄養剤の粘度測定と比較	共	2009年	Nutrition Support Journal	雨海照祥，脇田真季，升井洋至
106. 胆石症・胆嚢炎	共	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット1：肝・胆・膵・腎の疾患 文光堂	雨海照祥，脇田真季，松岡美緒
107. 鉄	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥，脇田真季
108. 下痢—その臨床的意義と対策（2）	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥，大石恭子
109. 下痢—その臨床的意義と対策（1）	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥，大石恭子
110. 適正タンパク質の指標 NPC/N比を用いた栄養ケア	共	2008年	月刊ナーシング	雨海照祥，脇田真季，松岡美緒
111. 微量得要素小辞典 監訳	共	2008年	西村書院	宮崎正己，雨海照祥，谷口章子
112. 鉄	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥，脇田真季
113. 新臨床栄養学—臨床編1. 栄養アセスメント2. 呼吸ガス分析	共	2007年03月	医学書院	岡田 正，馬場忠雄，山城雄一郎（編）
114. 『対象と方法』も，論文の2つ目の命—統計処理から倫理委員会まで	単	2007年	臨床栄養	
115. NCP/N比の臨床的意義—そこからみえてくるもの・みえないもの	共	2007年	臨床栄養	雨海照祥，鞍田三貴
116. 研究結果が論文の命—図と表の左→右方向に命を込める	単	2007年	臨床栄養	
117. 学会発表から論文への序章—論文バラバラ分解編	単	2007年	臨床栄養	
118. 経腸栄養剤の選択とその注意点 非蛋白カロリー/窒素比とNaイオ	共	2007年	臨床栄養	雨海照祥，大石恭子

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
ンの意義				
119. エネルギー消費量算出のピットフォール—Longの式の妥当性を検証する	共	2007年	臨床栄養	雨海照祥, 藤澤克彦
120. 外科系疾患のモニタリング	共	2007年	静脈経腸栄養	雨海照祥, 大石恭子, 藤澤克彦
121. 食物・栄養成分のエネルギーと生体における利用機序—エネルギーの「おにぎり命題」と「人間命題」—	共	2007年	栄養 評価と治療	雨海照祥, 高岸和子, 鞍田三貴 他
122. 病態に応じた正しい輸液の考え方	共	2007年	Total Nutrition Care	井上善文, 石橋生哉, 土師誠二, 杉浦伸一, 雨海照祥
123. 栄養素と感染症—褥瘡における栄養の意義	単	2007年	臨床栄養	
124. 静脈経腸栄養ガイドライン—日本静脈経腸栄養学会監修	共	2006年	南江堂	日本静脈経腸栄養学会ガイドライン作成委員会
125. 輸液・栄養療法 EVIDENCE & CONTROVERSY	共	2006年	医歯薬出版	毛利 健、ほか
126. 小児医療にみる医学留学へのパスポート—イギリス医療から教えてもらった多くのこと	単	2006年		
127. 実戦4000問—管理栄養士国家試験完全攻略2006—臨床栄養学	共	2006年	医歯薬出版	阿部一博、ほか
128. エネルギー必要量の算定の根拠—エビデンスは本当にあるのか?	共	2006年	医歯薬出版	毛利 健
129. 臨床栄養管理法—栄養アセスメントから経済評価まで—	共		建帛社	武田英二, 雨海照祥, 佐々木雅也 他 共著
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. ASPEN Ethics Position Paper 2020	共	2020年9月—Peer Reviewed-	Nutr Clin Pract. 2020; 34: In Press	Schwarz BD, Barrocas A, Amagai T, et al.
2. Non-protein calorie:nitrogen ratio (NPC/N) as a determinant of clinical outcome in critical illness	共	2019年7月30日—Peer reviewed-	Clin Surg, In Press. (Impact Factor=1.820)	Miyuki E, Hasegawa M, Hokotachi Y, Iijima S, Yano M, Amagai T.
3. A Dyspnea as determinant of lower energy intake in older adult patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease (COPD)	共	2019年4月—Peer reviewed-	Clin Surg. 2019; 4: 2410. (Impact Factor = 1.820)	Miyuki E, Hokotachi Y, Hasegawa M, Kaneko M, Amagai T.
4. Collagen peptide as an effector in pressure injuries treatment in older adult inpatients	共	2019年3月1日—Peer reviewed-	Clin Surg. 2019; 4: 2353. (Impact Factor=1.820)	Hokotachi Y, Itoh M, Akasaki M, Kai C, Hasegawa M, Tamura T, Uramoto S, Amagai T.
5. Determination of cutoff point of an early energy target to maximize better clinical outcomes in SCU patients with cerebral hemorrhage	共	2019年10月21日—Peer reviewed -	Biomed J Sci & Tech Res. 2019;22(2). MS. ID .003716. (Impact Factor = 0.548)	Kurokawa N, Hokotachi Y, Amagai T.
6. Paradoxical lower BMI and albumin decrease as predictors of mild hospital-acquired pressure injury in older adult patients	共	2018年9月10日—Peer reviewed-	Clin Surg. 2018; 3: 2127. (Impact Factor=1.820)	Kai C, Kurokawa N, Hokotachi Y, Hasegawa M, Amagai T.
7. Determination of the cut-off point of the Functional Independence Measure as a predictor of adverse events in patients with acute stroke	共	2018年7月11日—Peer reviewed-	J Int Med Res. 2018;46(10):4235-45. DOI: 10.1177/0300060518792155. (Impact Factor=1.023)	Kurokawa N, Kai C, Hokotachi Y, Hasegawa M, Amagai T.
8. Non-protein calorie: nitrogen ratio (NPC/N) as an indicator of nitrogen balance in clinical settings	共	2018年6月25日—Peer reviewed-	Biomed J Sci Tech Res, 2018;6(1).BJSTR. MS .ID.001297. DOI: 10.26717 / BJST.2018.06.001297 (Impact Factor=0.548)	Amagai T, Hasegawa M, Kitagawa M, Haji S.
9. Elevated serum AA/EPA ratio as a predictor of skeletal muscle depletion in cachexic patients with advanced gastrointestinal cancers	共	2017年9月—Peer reviewed-	In Vivo, 2017;31:1003-9. [PMID28882973] (Impact Factor=1.116)	Kitagawa M, Haji S, Amagai T.
10. High Serum EAA as a predictor	共	2017年10月	Nutr Clin Pract. 2017	Kitagawa M, Haji S, Amagai T.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
of skeletal muscle depletion in cachexic patients with advanced gastro-intestinal cancers		-Peer reviewed-	;32(5):645-651.doi: 10.1177/0884533617724742. [PMID28850803] (Impact Factor=2.591)	
11. Energy intake in the first week in an emergency intensive care unit may not influence clinical outcomes in critically ill, overweight Japanese patients	共	2017年 -Peer reviewed-	Asia Pac J Clin Nutr. 2017;26(6):1016-1020. doi: 10.6133/apjcn.022017.01. [PMID28917226] (Impact Factor=1.335)	Ichimaru S, Sono M, Seo R, Ariyoshi K, Amagai T.
12. Upper extremity muscle function as an indicator of pre-frailty in older adult patients with chronic obstructive pulmonary disease (COPD)	共	2016年6月 -Peer reviewed-	J Aging Res Clin Pract 2016;5(3):147-154.	Miyamoto E, Kaneko M, Ichimaru S, Amagai T.
13. Addition of alpha-amylase and thickener to blenderized rice provides suitable viscosity for use in nutritional support	共	2016年5月 -Peer reviewed-	J Nutr Health 2016;2(1):7	Itoh M, Nishimoto Y, Masui H, Etani Y, Takagishi K, Ida S, Amagai T.
14. Intestinal Starvation is Associated with Diarrhea in Older Adult Patients after Percutaneous Endoscopic Gastrostomy (PEG) Creation	共	2016年1月 -Peer reviewed-	J Food Nutr Disor 2016;5(1):6, 5:1 (Impact Factor=0.650)	Hayashida M, Fukushima T, Ichimaru S, Hokotachi Y, Yamagata K, Amagai T.
15. Cumulative Energy Deficit for First 7 days After Admission Is Associated with Poor Outcomes Three Months Later in Non-Acute Hospitalized Older Adults.	共	2015年4月 -Peer reviewed-	J Aging Res Clin Pract 2015;4:172-9.	Hokotachi Y, Ichimaru S, Hayashida M, Amagai T.
16. Low Energy Intake During the First Week in an Emergency Intensive Care Unit Is Associated With Reduced Duration of Mechanical Ventilation in Critically Ill, Underweight Patients: A Single-Center Retrospective Chart Review.	共	2014年 -Peer reviewed-	Nutr Clin Pract. 2014;29:368-79. [PMID: 24740496] (Impact Factor=2.401)	Ichimaru S, Fujiwara H, Amagai T, Atsumi T.
17. Disaster Nutrition in the Great East Japan Earthquake Disaster -GEJED.	共	2014年 -Peer reviewed-	Nutr Clin Pract. 2014;29:585-94. [PMID:25606634] (Impact Factor=2.401)	Amagai T, Ichimaru S, Tai M, Ejiri Y, Muto A.
18. The application of a feeding protocol in older patients fed through percutaneous endoscopic gastrostomy tubes by the intermittent or bolus methods: a single-retrospective chart reviewcenter,	共	2013年2月 -Peer reviewed-	Asia Pac J Clin Nutr 2013;22(2):229-234. [PMID: 23635366] (Impact Factor=2.040)	Ichimaru S, Amagai T, Shiro Y.
19. Impact of energy intake on the survival rate of patients with severely ill stroke	共	2013年 -Peer reviewed-	Asia Pac J Clin Nutr 2013;22(3):474-481. [PMID:24066366] (Impact Factor=2.040)	Wakita M, Omori Y, Ichimaru, Wakayama A, Amagai T.
20. Changes of Energy Metabolism, Nutritional Status and Serum Cytokine Levels in Patients with Crohn's Disease after anti-Tumor Necrosis Factor- $\alpha$ Therapy	共	2013年 -Peer reviewed-	J Clin Biochem Nutr. 2013;53(2):122-127. [PMID:24062610] (Impact Factor=2.294)	Nishida N, Sasaki M, Kurihara M, Ichimaru S, Wakita M, Bamba S, Andoh A, Fujiyama Y, Amagai T.
21. Which is more effective to prevent enteral nutrition-related complications, high- or medium-viscosity thickened enteral formula in patients with percutaneous endoscopic gastrostomy?: a single-center retrospective chart review.	共	2012年8月 -Peer reviewed-	Nutr Clin Pract. 2012;27(4):545-52. [PMID:22645104] (Impact Factor=1.578)	Ichimaru S, Amagai T, Wakita M, Shiro Y.
22. Long-term survival with cloacal dysgenesis sequence	共	2012年1月 -Peer reviewed-	Pediatr Surg Int. 2012;28(1):107-10. [PMID:22170701] (Impact Factor = 1.397.)	Yanai T, Urita Y, Amagai T, Kawakami H, Watayo H, Masuko T, Matsuda S, Hirai M, Muraji T, Hamada H.
23. Determinant Factors of the Viscosity of Enteral Formula-Basic Analysis of the Thickened Enteral Formula-.	共	2012年02月 -Peer reviewed-	Nutr Clin Pract. 2012;27(1):82-90. [PMID:2307493] (Impact Factor=1.578)	Wakita M, Masui H, Ichimaru S, Amagai T.
24. Nutrition Assessment as a Predictor of Clinical Outcomes for	共	2011年01月 -Peer reviewed-	Nutr Clin Pract. 2011;26(2):192-8. [PMID:2	Wakita M, Fukatsu A, Amagai T.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
Infants With Cardiac Surgery: Using the Prognostic Nutritional Index.		wed-	1447774] (Impact Factor=1.594)	
25. Effect of a high density of formula on growth and safety in congenital heart disease infants	共	2010年05月- Peer review wed-	e-SPEN, the European e-Journal of Clinical Nutrition and Metabolism. 2010;5(6):281-3.	Taniguchi-Fukatsu A, Matsuoka M, Amagai T.
26. How about hospital malnutrition in children's hospital in Japan	共	2006年04月	J Parenteral & Enteral Nutrition	Mouri T., Kawakami H., Murofushi M., Ishii T., Nemo to Y
27. The etiologic role of intrauterine volvulus and intussusception in jejunoileal atresia	共	2004年12月- Peer review ed-	J Pediatr Surg. 2004; 39(12):1812-4.	Komuro H, Hori T, Amagai T, Hirai M, Yotsumoto K, Urita Y, Gotoh C, Kaneko M.
28. Placental vascular compromise in jejunoileal atresia	共	2004年11月- Peer review ed-	J Pediatr Surg. 2004; 39(11):1701-5.	Komuro H, Amagai T, Hori T, Hirai M, Matoba K, Watanabe M, Kaneko M.
29. Accuracy of flow and sensors of indirect calorimetry for neonates and infants: using mass spectrometry and a pneumotachogram	共	2002年10月- Peer review ed-	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl. 2002;29: S7-8.	Amagai T, Mouri T, Ohkawa H, Nishi I.
30. Clinical significance of measurement of resting energy expenditure in childhood.	共	2002年10月- Peer review ed-	Clin Exp Pharmacol Physiol. 2002;29(S4):S19-S22. doi: 10.1046/j.1440-1681.29.s4.2.x.	Amagai T, Mouri T, Kirii K, Hori T, Kaneko M, Ohkawa H.
31. Clinical significance of measurement of resting energy expenditure in childhood	共	2002年10月- Peer review ed-	Clin Exp Pharmacol Physiol Suppl. 2002;29: S19-22.	Amagai T, Mouri T, Kirii K, Hori T, Kaneko M, Ohkawa H.
32. Accuracy of flow and sensors of indirect calorimetry for neonates and infants: Using mass spectrometry and a pneumotachogram.	共	2002年10月- Peer review ed-	Clin Exp Pharmacol Physiol. 2002;29(S4):S7-S8. doi: 10.1046/j.1440-1681.29.s4.5.x.	Amagai T, Mouri T, Ohkawa H, Nishi I.
33. The clinical importance of the trimethadione tolerance test as a method for quantitative assessment of hepatic functional reserve in patients with biliary atresia.	共	2001年12月- Peer review ed-	J Clin Pharm Ther. 2001;26(6):417-24.	Nakamura H, Tanaka E, Kaneko M, Iwakawa M, Hori T, Ikebukuro K, Amagai T, Ohkawa H.
34. Endoscopic septotomy: a new surgical approach to infantile hydrometrocolpos with imperforate hemivagina and ipsilateral renal agenesis	共	1999年4月- Peer review ed-	J Pediatr Surg. 1999; 34(4):628-31.	Amagai T, Ohkawa J, Kaneko M.

その他

1. 学会ゲストスピーカー

1. 日本人間健康栄養協会 研修会 食事アセスメント講座Ⅳ (第2回)		2020年3月		BDHQの結果から高血圧・脂質異常症の指導の実際
2. 鹿児島県大島郡瀬戸内町 医療・地方創成イベント・講演		2020年2月		離島地域における医療・地方創成について
3. 日本人間健康栄養協会 研修会 食事アセスメント講座Ⅲ (第2回)		2020年2月		高血圧・脂質異常症の栄養等の関連の基礎知識+ガイドラインの理解
4. 静岡県立こども病院		2020年1月		臨床に活かせる小児栄養学
5. 地域栄養改善活動従事者研修会 (香川県)		2019年9月		フレイルティ、サルコペニアと栄養～日本人の食事摂取基準 (2020年版) をふまえて～
6. 日本人間健康栄養協会 研修会 食事アセスメント講座Ⅶ		2019年8月		BDHQの結果から過大・過少申告率の高い対象者の指導の実際
7. 第49回栄養学連続講義		2019年8月		「日本人の食事摂取基準 (2020年版)」変更点の概説
8. 健康ひょうご21県民運動たんば会議		2019年7月		「フレイルの治療と予防」～令和における展望～
9. 日本人間健康栄養協会 研修会 食事アセスメント講座Ⅴ		2019年6月		糖尿病・慢性腎臓病と栄養等の関連の基礎知識+ガイドラインの理解
10. 日本人間健康栄養協会 研修会 食事アセスメント講座Ⅵ		2019年6月		BDHQの結果から糖尿病・慢性腎臓病の指導の実際
11. 第15回びくるすの会研究会		2019年6月		～食のゆくえ・栄養のゆくえ、多職種で守る命のキーポイント～
12. 日本人間健康栄養協会 研修会 食事アセスメント講座Ⅳ (第1回)		2019年5月		BDHQの結果から高血圧・脂質異常症の指導の実際
13. KCJ GROUP 株式会社 講義		2019年5月		こどもの病氣・怪我



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
14. 日本人間健康栄養協会 研修会 食事アセスメント講座Ⅲ (第1回)		2019年4月		高血圧・脂質異常症の栄養等の関連の基礎知識+ガイドラインの理解
15. 「北部地区健康づくり提唱のつどい」京都府栄養士会		2019年2月		サルコペニア、フレイルで加齢による変化を知る
16. 日本人間健康栄養協会 研修会 ユニットケア栄養マネジメント講座Ⅴ		2019年12月		栄養ケアの実施、モニタリング、アウトカム評価
17. 日本人間健康栄養協会 研修会 ユニットケア栄養マネジメント講座Ⅳ		2019年11月		栄養ケアのスクリーニング、評価、計画
18. より充実したシニアライフを送るための食品・飲料開発について(セミナー)		2019年11月		ミドルからシニアに求められる栄養と課題について
19. KCJ GROUP 株式会社 講義		2019年11月		こどもの病気・怪我
20. 特定給食講演会(大阪府)		2019年11月12月		施設における栄養管理～日本人の食事摂取基準2020年版の活用～
21. 「第38回健康づくり提唱のつどい」京都府栄養士会		2019年1月		サルコペニア、フレイルで加齢による変化を知る
22. 教育講演: "A novel methodology system to educate patients with non-communicable diseases and to evaluate its effectiveness by outcome parameters"	単	2017年6月29日	11th European Nutrition & Dietetics Conference. Madrid, Spain.	
23. 福祉職域事業部第18回専門研修会【中堅者研修Ⅳ-2】		2013年9月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養アセスメントとモニタリング(サルコペニア・褥瘡)
24. 全国福祉栄養士協議会第17回専門研修会 中四国&東海北陸ブロック		2013年7月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養アセスメントとモニタリング
25. 全国福祉栄養士協議会第17回専門研修会 北海道&東北ブロック		2013年7月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養アセスメントとモニタリング
26. 福祉職域事業部第18回専門研修会【中堅者研修ⅢⅠ-2】		2013年6月		疾病等のガイドラインを理解する(高血圧・脂質異常症・褥瘡について)
27. 日総研公開セミナー(研修会)		2013年5月28日		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定の技術とポイント
28. 日総研公開セミナー(研修会)		2013年5月		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定の技術とポイント
29. 平成25年度揖龍栄養士会総会および研修会		2013年5月		高齢者の栄養ケアマネージメント
30. 日総研グループ公開セミナー(研修会)		2013年4月		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定の技術とポイント
31. 第2回「日本人の食事摂取基準(2015年版)」策定検討会		2013年3月19日		「エネルギー代謝の概論について」厚生労働省
32. 日総研公開セミナー(研修会)		2013年3月		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定の技術とポイント
33. 福祉職域事業部第17回専門研修会		2013年3月		疾病等のガイドラインを理解する(高血圧・脂質異常症・褥瘡について)
34. さいたま市保健所管内給食研究会・さいたま市保健所合同研修会		2013年2月		笑顔の見える栄養管理-小児から高齢者まで-
35. 日総研公開セミナー(研修会)		2013年2月		高齢者の栄養アセスメントと栄養ケア計画作成のポイント
36. 日本栄養士会		2013年11月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
37. 浜松医科大学 NST勉強会		2013年11月		これからのNSTはどうあるべきか? 新生児から超高齢者まで
38. 全国福祉栄養士協議会第17回専門研修会 九州ブロック		2013年10月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養アセスメントとモニタリング
39. 全国福祉栄養士協議会第17回専門研修会 近畿ブロック		2012年9月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養アセスメントとモニタリング
40. 栄養サポートチーム担当者研修会		2012年8月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
41. 大阪府栄養士会透析食研究会		2012年8月		透析患者の症例検討第2弾～チュートリアル形式にて～
42. 平成24年度 社会福祉施設等給食担当職員研修		2012年8月		運動とバランスのとれた食事～サルコペニアの予防～
43. TNT-D追加研修会 東京会場		2012年7月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
44. 全国福祉栄養士協議会第17回専門研修会 関東甲信越&京浜ブロック		2012年6月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養アセスメントとモニタリング
45. 第4回日本静脈経腸栄養学会四国		2012年6月		平時に備える災害弱者への栄養療法-小児, 高齢者

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
支部学術集会 46. 赤相栄養士会総会・研修会 47. TNT-D研修会（九州ブロック）～ ファースト・ステップ～ 48. 広島県栄養士会 49. 第14回神奈川NSTフォーラム 50. TNT-D追加研修会および栄養サポ ートチーム担当者研修会 51. 日本栄養士会 52. 滋賀県栄養士会 53. 佐賀県病院栄養士協議会 54. 栄養・給食部会研修会 55. 日本栄養士会 56. 大阪府栄養士会透析食研究会 57. 石川県栄養士会 58. 日本栄養士会 59. 新潟県臨床栄養研究会 60. 日本栄養士会 61. 日本栄養士会 62. 日本栄養士会 63. 春期ひょうご講座 64. H22年度 認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース 65. 国立病院機構長崎医療センターNS T勉強会 66. 日本臨床栄養研究会 67. 化学療法勉強会 68. 日本栄養士会 69. 日本栄養士会 70. 全国福祉栄養士協議会 71. 第12回 ダノン健康・栄養フォー ラム 72. 社会保険病院拠点研修 73. 病院栄養士協議会 74. 日本栄養士会 75. 神奈川県栄養士会 76. 日本栄養士会 77. 日本外科代謝栄養学会 78. 長野県栄養士会 79. 新潟県栄養士会 80. 日本栄養・食糧学会 81. 三重県臨床栄養研修会 82. 石川県栄養士会 83. 第7回病院栄養士マネージメント セミナー 84. 第2回みと栄養セミナー 85. 特定給食施設（医療・介護施設） 栄養管理研修会 86. 日本栄養士会		2012年5月  2012年10月  2012年03月 2011年11月 2011年11月 2011年10月  2011年10月 2011年10月  2011年10月  2011年09月 2011年08月 2011年08月 2011年08月 2011年07月  2011年07月 2011年06月  2011年03月 2010年6月  2010年5月 2010年3月 2010年11月 2010年11月 2010年11月 2010年10月  2010年10月 2010年10月  2010年10月 2010年09月 2010年09月 2010年09月 2010年08月 2010年07月  2010年07月 2010年07月  2010年05月 2010年04月 2010年03月 2009年7月 2009年12月 2009年11月 2009年11月	病態栄養学	, 女性, そして・・・ 高齢者の栄養管理～高齢者のための低栄養発見ツールのMNA-SF 水, 電解質, 栄養サポートの根拠と適応, 栄養アセスメントと栄養不良の発見 老年症候群と栄養-MNA-SFの臨床的な意義と可能性 栄養がアウトカムに与える影響の検討 経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際 水, 電解質, 栄養サポートの根拠と適応, 栄養アセスメントと栄養不良の発見 水と電解質の管理 高齢者の水分管理-トランジットコントロール（排便コントロール）の視点を含めて MNAについて学び, 栄養ケアマネジメントに活用する 経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際 透析患者の症例検討 水と電解質の管理 経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際 バイタルサインの読み取り方, MNAによる栄養アセスメント 経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際 水, 電解質, 栄養サポートの根拠と適応, 栄養アセスメントと栄養不良の発見 経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際 （母親）ダイエット→（赤ちゃん）成人期に糖尿病のシナリオ 栄養療法（経腸栄養・輸液栄養）について 低栄養症候群とその栄養管理 化学療法患者の栄養管理 水, 電解質, 栄養サポートの根拠と適応, 栄養アセスメントと栄養不良の発見 水, 電解質, 栄養サポートの根拠と適応, 栄養アセスメントと栄養不良の発見 介護保険施設利用者の非経口栄養について 栄養管理の重要性とチーム医療の必要性 栄養アセスメントとNST活動の基本的理解 褥瘡の栄養管理-栄養アセスメントからちりょうまで 水, 電解質, 栄養サポートの根拠と適応, 栄養アセスメントと栄養不良の発見 高齢者の栄養管理-アウトカムとアセスメント 経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際 血中アミノ酸相互抑制ネットワーク解析から学ぶもの 高度肥満患者の栄養管理 静脈・経腸栄養の基礎-栄養療法における栄養状態判定の方法と意義と静脈・経腸栄養のモニタリング 臨床栄養管理の意義 褥瘡のアセスメントおよび栄養管理 水分管理の基礎について アウトカム指標としての栄養状態判定基準 観察式食事記録調査の技法と調査結果の整理の仕方／管理栄養士の専門を高める アウトカム指標としての栄養状態判定基準 水, 電解質, 栄養サポートの根拠と適応, 栄養アセスメントと栄養不良の発見

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
87. 日本栄養士会		2009年11月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
88. 全国福祉栄養士協議会		2009年11月		障害者における栄養アセスメントについて
89. 褥瘡講演会		2009年11月		全身疾患としての褥瘡の栄養療法
90. 県立病院栄養士研修		2009年11月		栄養における水と電解質
91. 日本栄養士会		2009年10月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
92. 大分県栄養士会		2009年10月		症例に学ぶアセスメントとケアプラン、高齢者と栄養
93. 茨城県看護協会教育計画研修		2009年10月		NST組織と活動
94. 葛城集団給食管理研究会研修会		2009年10月		消化管のアセスメントとアウトカム指標
95. 日本栄養士会		2009年09月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
96. 日本栄養士会		2009年08月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
97. 日本臨床栄養学会北海道地方会総会		2009年06月		臨床栄養に関わる管理栄養士への提言
98. 埼玉県栄養士会		2009年05月		高齢者の栄養管理・超高齢化社会のフロンティアとして
99. 熊本県栄養士会		2009年05月		褥瘡ケアと栄養管理
100. 日韓合同注射薬臨床情報学シンポジウム		2009年04月		臨床栄養学におけるアウトカム指標の意義と課題-薬剤師の果たす役割
101. 日本栄養士会		2009年02月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
102. 第6回神奈川Nutrition Seminar研究会		2008年8月		TNT-C 小児の栄養管理
103. 臨床栄養学セミナー I		2008年7月		論文・学会・研究資料作成のスキル伝授！～皆でエビデンスをつくりだそう～
104. 臨床栄養学セミナー		2008年7月		エビデンスを蓄積するための栄養指標とデータのとり方
105. 第7回富山県NST研究会		2008年6月		終末期医療とNST
106. NSTの研修会		2008年4月		急性期医療における栄養管理のあり方
107. 第39回鹿児島県栄養代謝研究会		2008年2月		栄養療法の教育効果の判定方法
108. 特定給食講演会 I		2008年12月		高齢者の栄養評価と改善
109. 全国福祉栄養士協議会		2008年12月		高齢者の経腸栄養について
110. 兵庫臨床栄養研究会		2008年11月		臨床栄養学のEBM
111. 日本職業・災害医学会研修会		2008年11月		医療の中での臨床栄養-臨床栄養のアウトカムの指標選択とその出し方
112. 静岡県栄養士会		2008年11月		侵襲期における急性期の栄養管理について
113. 鹿児島県栄養士会		2008年10月		症例で学ぶ栄養アセスメント、お水のおはなし-体内の水分から下痢・脱水症まで、食品と薬品-遠くて近いその関係
114. 京都栄養士会		2008年10月		食事と薬の関係
115. 町田・地域サポート研究会		2008年10月		急性期病院から見た地域一体型NSTに期待するもの
116. 小児NSTセミナー		2008年1月		小児の栄養療法のあるべき姿
117. 日本褥瘡学会		2008年08月		全身疾患としての褥瘡と栄養療法
118. 老人福祉施設 栄養士研修会		2008年08月		認知症の理解、栄養ケアマネジメント
119. 全国福祉栄養士協議会		2008年07月		栄養管理における栄養評価と改善-経腸栄養剤の選択基準、下痢の原因と対策等
120. 神奈川県栄養士会		2008年05月		栄養アセスメントと嚥下について
121. 愛媛県栄養士会		2008年04月		栄養アセスメント-症例を交えて
122. 全国在宅訪問栄養食事指導研究会		2008年03月		NSTを在宅にどう導入するか
123. 兵庫県栄養士会		2008年03月		栄養アセスメント手法を活用したメタボリック診断
124. 鹿児島県栄養代謝研究会		2008年02月		栄養療法の教育効果の判定方法
125. 病院栄養士協議会		2008年01月		栄養アセスメントスキルアップセミナー
126. 生涯学習研修会		2007年8月		小児の栄養管理-アレルギーも含めて-
127. 生涯学習研修会		2007年6月		栄養評価に伴う臨床栄養学
128. NOVARTIS Medical Trainingセミナー		2007年6月		高齢者の栄養ケア
129. 日本機能性食品医学会		2007年12月		消化器疾患と機能性食品
130. 第5回 山形NSTセミナー		2007年12月		NST活動の継続とスキルアップに向けて
131. そこが知りたい 再び口から食べ		2007年11月		子供の胃ろうを考える

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
るための胃ろうの知識				
132. 第6回 栄養療法困った症例検討会		2007年10月		経管栄養管理上の注意点
133. 滋賀医科大学NST講演会		2007年10月		栄養療法のピットフォール
134. 全国福祉栄養士協議会		2007年09月		栄養ケアマネージメントに活用できる栄養アセスメントとモニタリング
135. 全国福祉栄養士協議会		2007年08月		栄養ケアマネージメントに活用できる栄養アセスメントとモニタリング
136. 全国福祉栄養士協議会		2007年07月		栄養ケアマネージメントに活用できる栄養アセスメントとモニタリング
137. 山口県栄養士会		2007年06月		医師からみた病態別栄養管理
138. 京都府栄養士会		2007年06月		病態別栄養管理
139. 宮崎県栄養士会		2007年05月		褥瘡の栄養管理
<b>2. 学会発表</b>				
1. 造血幹細胞移植 (HSCT) 後患児の死亡予測指標としてのPNI	共	2012年03月	日本小児栄養研究会	脇田真季, 雨海照祥, 長谷川大一郎, 田中愛子, 石田敏章, 川崎圭一郎, 小阪嘉之
2. 心臓手術施行乳幼児における予後指標としての栄養アセスメント	共	2011年03月	日本小児栄養研究会	脇田真季, 谷口章子, 雨海照祥
3. Is There Survival Indicator With Nutritional Status With Hematopoietic Stem Cell Transplantation In Children? - One Aspect of Albumin and Lymphocyte-	共	2011年02月	Clinical Nutrition Week 2011	Amagai T, Hasegawa D, Wakita M
4. 健康正常児における予後推定栄養指数 (PNI) の年齢推移の検討	共	2010年03月	健康正常児における予後推定栄養指数 (PNI) の年齢推移の検討	川上 肇, 脇田真季, 松岡美緒, 雨海照祥, 連 利博
5. Dynamic Nutritional Status Can Predict Clinical Outcome Among Cardiac Surgical Infants In Children's Hospital ?Using Prognostic Nutritional Index-	共	2010年02月	Clinical Nutrition Week 2010	Akiko Taniguchi, Maki Wakita, Mio Matsuoka, Teruyoshi Amagai
6. Nutritional Index as Clinical Outcome Indicator in Childhood -Infants with Cardiac Surgery -	共	2009年08月	31st ESPEN congress on Clinical Nutrition and Metabolism	Maki Wakita, Akiko Taniguchi, Teruyoshi Amagai
7. アウトカム判定ツールとしての小児PNIの意義	共	2009年05月	日本外科代謝栄養学会	脇田真季, 谷口章子, 雨海照祥
8. 宮崎県栄養士会研修会		2007年5月		褥瘡の栄養管理
<b>3. 総説</b>				
1. 「日本人の食事摂取基準 (2020年版)」の活用法	単	2020年3月	Trends of Nutrition 栄養	
<b>4. 芸術 (建築模型等含む) ・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<b>6. 研究費の取得状況</b>				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2018年4月1日～2020年3月31日	厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定検討会 構成員
2. 2013年4月1日～2015年3月31日	厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」策定検討会 構成員
3. 2010年1月1日～現在	アメリカ静脈経腸栄養学会(A. S. P. E. N.)学会誌(Nutr Clin Nutr)編集委員